
仕事を辞めた日

平治

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仕事を辞めた日

【コード】

N2753Q

【作者名】

平治

【あらすじ】

ある会社員が仕事を辞めたその後のお話。

1・明日からの希望

喉を通るビールが旨い。

「ゴクツゴクツ」

という刻みの良いビートが部屋から漏れるんじゃないかと云う位豪快に飲み干す。

一人の部屋でこれ程呑んだのは久しぶりだ。

しかも、これは辛さや寂しさの酒じゃない。

昼の12時まで、温かい布団に包まっても誰にも文句は言われない。社内携帯のバイブレーションが私を悩ます事もない。

これ程の開放感を得たのは何年振りだろうか？

未来の不安なんか無かった。

いや、頭の隅にはあったのかも知れないが、無意識に考えない様にしていた。

「来月いっぱいで辞めさせて頂きます。」

2か月前ついに言った。半年以上も前から胸に秘めていたものの、プロジェクト途中であるとか、自分の代わりはいない、という奢りや中途半端な責任感が

いつも私を思いとどまらせていた。

上司は形式的に私を制止した。

「辞めてどうするんだ？」

辞めてどうする、じゃない。とにかく辞めたい。

「他にやりたい事があるので・・・。」

正直、仕事が辛すぎた。楽しくなかった。このまま迫る年波に飲み

込まれ、
転職すら不可能な年齢になるのが恐かった。一生この職場で働く、
という恐怖から逃れたかった。

しかし、仕事の辛さなんてものは、社会の一部として機能しない焦
りに比べたら安いものだと感じるのはまだまだ先の事だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2753q/>

仕事を辞めた日

2011年1月26日10時40分発行